「ツーリズムEXPOジャパン」特集

世界最大級の旅行・観光博覧会に

全国、世界150国・地域から970企業・団体

ツーリズムEXPOジャパン

展示や商談～新しい旅が始まる。

業界日25・26日、一般日27・28日

オールジャパンで取り組む世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2014」が今月25～28日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開かれる。「新しい旅が始まる。」をキャッチフレーズに国内旅行、海外旅行の魅力を発信する。25、26日は国内外の業界関係者が参加する商談会や展示会、27、28日は一般消費者向けの展示会やイベント。国内外の業界関係者には商談や情報交換の機会を提供。一般来場者には、旅行の最新情報を紹介し、国内外の料理が味わえるグルメゾーンや旅に出かけたくなるステージパフォーマンスを楽しんでもらう。

主催は日本観光振興協会（日観振）と日本旅行業協会（JATA）。ツーリズムEXPOジャパンは今回が初の開催になる。これまでそれぞれに開かれてきた国内観光博覧会「旅フェア日本」（日観振主催）と、国際観光博覧会「JATA旅博」（JATA主催）を統合して誕生した大型イベント。来場者は15万人を見込んでいる。

展示会

展示会（業界関係者向け25、26日、一般消費者向け27、28日）には、全国47都道府県、世界150以上の国・地域から970を超える団体・企業がブースを出展する。東京ビッグサイトの東館全6ホールを使い切って開催する。

国内外の官公庁、自治体、観光協会をはじめ、旅行、航空、鉄道、ホテル、テーマパークなどにかかわるさまざまな企業が、業界関係者、一般消費者、それぞれに観光、旅行の最新情報を提供する。一般消費者向けには、三つのグルメゾーンを設置し、60を超えるステージパフォーマンスなども行い、旅の魅力を体感してもらう。

商談会

国内外の業界関係者が参加する商談会では、旅行会社などのバイヤーと、観光地や観光施設、ホテルなどのサプライヤーが商談を繰り広げる。

事前アポイントメント・マッチング方式の商談（25日）と、展示ブースを訪問して自由に商談するオープン・セッション方式の商談（26日）を通じて、ビジネス拡大につながる商談やネットワークづくりを後押しする。

商談会は、アウトバウンド（海外旅行）と国内旅行に分かれる。8月下旬時点でアウトバウンド商談会にはバイヤー181社とサプライヤー405企業・団体、国内旅行商談会にはバイヤー63社とサプライヤー137企業・団体の参加が予定されている。

フォーラム

業界関係者を対象とした「国際観光フォーラム」も26日に東京ビッグサイト会議棟で開催される。世界の観光施策、旅行市場の動向など最先端の情報を共有、発信する場として講演やパネルディスカッションが行われる。

基調講演では、国連世界観光機関（UNWTO）事務局長のタレブ・リファイ氏が「旅の力で地域を元気にする」をテーマに語る。

基調シンポジウムは、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを念頭に「オリンピック・パラリンピック利用した観光振興」をテーマに設定。観光庁の初代長官（現・参与）で首都大学東京教授の本保芳明氏をモデレーターに、パネリストとしてリファイ氏をはじめ、英国政府観光庁会長のクリストファー・ロドリゲス氏、オーストラリア政府観光局本局局長のジョン・オサリバン氏、日本政府観光局（JNTO）理事長の松山良一氏が登壇する。

このほか海外旅行、国内旅行、訪日旅行をテーマにしたパネルディスカッション、太平洋アジア観光協会（PATA）の協力による「成長するアセアン市場」をテーマにしたパネルディスカッションが行われる。

トラベルマート

24～26日には、ツーリズムEXPOジャパンと同じく東京ビッグサイトで、観光庁、日本政府観光局（JNTO）の主催による訪日外国人旅行に関する業界関係者向け商談会「VISIT JAPANトラベルマート2014」、国際会議等（MICE）に関する商談会ン事業の一翼を担う国内

業界関係者にビジネスチャンスを

一般消費者には旅の魅力を発信へ

オール日本で観光立国

訪日・MICE商談会も併催

ツーリズムEXPOジャパン、そしてVISIT JAPANトラベルマート、MICEマートが、同時期に同会場で開かれることで、国内旅行、海外旅行、訪日外国人旅行と観光分野のすべての展示会、商談会が勢ぞろいする。観光・旅行博覧会「VISIT JAPAN MICEマート2014」が開かれる。

トラベルマートは、観光庁のビジット・ジャパンとしては、ドイツの旅行博覧会「ITBベルリン」などに次ぐ世界最大級の規模となる。

観光業界や観光庁で初開催に伴い、初めて併催されることになった。

トラベルマートに参加するのは、旅行会社などの海外バイヤーが約350人、観光地や観光施設、ホテルなどの国内セラーが約400企業・団体。インセンティブツアーに関する商談を中心とするMICEマートに参加するのは、海外バイヤーが約20企業・団体の予定。

参加者は、ツーリズムEXPOジャパンの展示会場を訪れることから、同時開催の相乗効果で、さらに多くの商談が繰り広げられると期待されている。

※業界関係者向けの商談やフォーラムには、事前登録が必要なものがあるジャパンの詳細は、ホームページ（http://t-expo.jp/）まで。

最大の訪日外国人旅行の商談会。例年、単独で開催されてきたが、ツーリズムEXPOジャパンの

ャパン・トラベル・ウィーク」と呼称。国内外に幅広く日本の観光、旅行に関する話題を喚起し、新たな旅行需要の創出につなげていく。

ウィークは、官公庁や自治体、観光協会、旅行業、運輸業、宿泊業など、日本の観光関係者が結束し、オールジャパンの推進態勢を確立したことで実現。日本は、観光振興を国の成長戦略の一つに据えて、今年6月に閣議決定された政府の行動計画「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014」には、訪日外国人2千万人の誘致などの目標を掲げている。

ウィークは、「観光立国・日本」を世界にアピールする絶好の機会となる。

昨年9月に開かれた日本旅行業協会主催の「JATA旅博2013」の展示会場

昨年11月に開催された日本観光振興協会主催の国内観光博覧会「旅フェア日本2013」

業界向けセミナー

26日、多彩なテーマで

ツーリズムEXPOジャパンでは、業界関係者に向けたセミナーを多彩なテーマで26日に開催する。参加登録はURL（http://t-expo.jp/biz/exhibit/）。

カッコ内は開始時間（午前・午後＝略）。

【ステージA＝定員各300人】地域自らが来訪者を集める、新しい観光まちづくり(11時30分)▽ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー表彰式・ツアーコンダクター職業フェア（1時30分）▽ビッグデータ時代のツーリズムマーケティング（4時30分）

【ステージB＝定員各150人】海外卒業旅行コンテスト（11時30分）▽世界人口1／4、19億人ムスリム観光客を誘客、ハラール対応で集客・接遇のポイント教えます（4時30分）

【セミナールーム1＝定員各60人】モンゴルの観光発展と日本の旅行会社とのパートナーシップについて(11時)▽「障害者差別解消法」とは（2時）▽インクレディブル・インドセミナー（4時）

【セミナールーム2＝定員各40人】国内向け及び海外向けの効率的な郵便活用方法（11時）▽地方都市へ、外国人観光客を呼び込む（1時）▽ショッピングツーリズムが拓く新たなインバウンド市場（3時）▽観光を元気にする「コミュニケーションデザイン」(5時)

【セミナールーム3＝定員各40人】風化してゆく象徴的事故の現実と観光の力（11時）▽ASEANからの訪日客とムスリムの受け入れ（1時）▽ミャンマーセミナー最新現地事情（3時）▽モルディブ大使館　観光と環境に関するセミナー（5時）▽パラオ政府観光局による「世界複合遺産」と新しいパラオの魅力紹介（5時45分）

【セミナールーム4＝定員各60人】魅力的なタイ・マイスシティー（11時）▽シルクロードにおけるカルチュラル・ツーリズムの成長と日本のアウトバウンド市場における機会（2時）▽国立公園、潮風トレイル、佐渡島トキの最新情報を知り、自然環境を活用した旅行商品を作ろう（4時30分）

【セミナールーム6＝定員各40人】神社仏閣だけでない新しい京都の魅力、再発見！（11時）▽苦情対応セミナー（12時30分）▽国内旅行商品造成におけるLCCの活用方法を学ぶ（5時）

【セミナールーム7＝定員各60人】目指せ、通訳案内士！こんな素敵な仕事です（11時）▽新しい旅行ビジネスモデルを考える（1時30分）▽スポーツツーリズムを通じた地域活性（4時）